

コミュニティ常盤

福祉の輪づくり運動

宇部市社会福祉協議会
佐々木 隆夫

私たちは、地域社会の一員として自治会等の地域の組織の中にあつて、有形、無形に近隣の人々のお世話になり、またお世話をして毎日の生活を送ってきました。

しかし、近ごろ私たちのこうしたあたたかい生活環境はだんだん大きく変わりつつあります。村では過疎化が進行し若者の姿がめっきり少なくなりました。また街では新しい団地等が造成されて人々の移動が激しく沢山な問題をかかえてきました。

こうした過疎化の進行、人と人とのふれあい不足、扶養意識の低下等の傾向はこのままの状態が続くとさらに拡大し、お互いが助け合つて生活してきた温かいぬくもりのある地域がなくなってしまうのです。

地域社会の中で生活する私たちは、ここで地域の将来について考えてみる必要があります。この場合次の二つの問題については、特に目を向けてお互いで考えあつてみたいものです。

その第一点は、老人人口の急増ということ。わが国の老人人口は未だ経験したことの無いスピードで増加しています。このことは一人暮らしやねたきり老人の数が大幅に増えてくることにもなります。こうした時代を迎えたとき、このままでは「近所の一

人暮らしのお年寄りや障害のある方の生活に手助けがいかる」等の場合に地域の人がかかっているなどということが難しくなつてきそうです。今の私達は、いつこうした手助けを受けなければならぬ立場になるかもしれないのです。

第二点は、今私たちが生活しお互いに助け合っている地域社会の組織がくずれるかもす。これらの人々を地域住民として、愛の一声運動等によって力を添えてあげなければなりません。こうしたケースは将来ますます増加すると考えられますので、今のうちにこのような事態に対応できる地域の体制(システム)を整えておく必要が大切と考えます。

二十一世紀に向けて老人人口が急増し、地域社会の構造も変わってくるという事態に

地域で支え合う在宅福祉



しれないということ。現にこの傾向は街ですですに起っている所があります。激しい人の移動、過疎化の進行、老人人口の増大、青壮年人口の相対的減少は、いやおうなく私たちの地域社会でのつながりをゆさぶることにあります。人と人とのつながりが薄くなつてきそうです。寂しい孤独な生活を強いられる人が増えてくることと思われま

す。これらの人々を地域住民として、愛の一声運動等によって力を添えてあげなければなりません。こうしたケースは将来ますます増加すると考えられますので、今のうちにこのような事態に対応できる地域の体制(システム)を整えておく必要が大切と考えます。

二十一世紀に向けて老人人口が急増し、地域社会の構造も変わってくるという事態に

対応することは極めて困難と
思われます。私たちの地域社
会において福祉のニーズが発
生したとき、直ちに自分として
また地域社会として何をなす
べきか、地域の人々の善意に
よる努力と行政施策をうまく
かみ合わせて効果を上げるに
はどうすればよいか等を地域
の人々がすべて承知し、実践
できる状態にすることが、
今、社協で取り組んでいる「福

春の交通安全健民運動

4月6日(月)～4月15日(水)

思いやり みんなで
すすめる 交通安全

この運動は、県民一人ひとりに交通安全知識を普及し交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルール、交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

- 駐車した その一台に 泣く百台
- とび出す一歩に とびつく危険

宇部交通安全協会常盤分会
交通安全常盤婦人部

常盤校区の福祉輪づくりを 考える集い

急速に進展する高齢化社会に対応するため、三月十二日(木)市民センターで、婦人ボランティアセミナー受講終了者と福祉委員の集いが、宇部市社会福祉協議会より二人を招き開催されました。

はじめに藤永社会福祉協議会長よりあいさつがあり、統



介護で疲れている...
☆ 高齢者世帯で病弱でもあり不安だ...
等々まだまだ地域には多くの福祉問題があります。

今まで社協は地域住民のためいろいろ活動をしてきましたが、今や福祉の潮流は地域で支え合う在宅福祉へと変わってきました。この福祉の輪づくり運動を通して、地域住民に開かれた地域住民の生活の支えとなる社協活動を住民一人一人の参加、協力のものとすすめて行けるようにと考えます。

ひとりの不幸を見逃がさないため、常盤校区として何をなすべきか、また組織づくりはどうするか等、いろいろな意見が活発に出され、これからも福祉問題を考える研修会を開催し、検討を重ねて、明るく住みよい常盤校区をめざそうという事になりました。

いて渡辺民生委員総務から、常盤校区のおとしよりの実態について六五才以上の二人ぐらしが一七三世帯、一人ぐらしが一〇五人...等の報告があり、また市社協より老人福祉対策の経過やボランティア活動として考えられる事等の話があつて、座談会にはいりました。

平成4年度 校区行事・予定のお知らせ

- 第7回 区民大運動会
 - 日時 5月10日(日) 場所 常盤小学校グラウンド
- 常盤海岸清掃
 - 日時 6月28日(日) 場所 JR常盤駅下海岸
- 第8回 区民ソフトボール・婦人バレーボール大会
 - 日時 7月中旬 場所 常小グラウンド及び体育館
- 第15回 常子連球技大会
 - 日時 7月26日(日) 場所 常盤小学校グラウンド
- 区民夏まつり
 - 日時 8月9日(日) 場所 常盤市民センター裏広場
- 4年度 敬老会
 - 日時 9月15日(祭) 場所 常盤小学校体育館
- 第7回 校区文化祭
 - 日時 11月7日(土)・8日(日) 場所 常盤市民センター

校区行事予定が決まりましたので、お知らせします。詳細については、事前に「チラシ」を配布します。ふるってご参加をお待ちしております。

鍋島

昔を知ろう 藩政時代は吉敷郡(周防)は小郡宰判で、厚狭郡(長門)は舟木宰判であった。周防・長門の境は海は鍋島から常盤市民センターへの国道一九〇号線の分離帯の中に境石があり、更に北上して国道二号線沿いの二俣瀬に花崗岩の国境標柱がある。

宇部地方史研究一九八〇・一二月号の、大正時代の庶民生活(藤里俊裕)によれば、鍋島について、敵島信仰海上安全祈願の対象神、併せて豊漁をも祈願する。鎮座場所防長国境上の小島、鍋島。神社は荒人神社の末社として、元禄一〇年頃敵島神社を勧請し小祠を建立、一般に所在地名をとり鍋島様と呼ぶ。祭祀者川床波東を中心とした床波



全域の漁人及び共船組組合員、祭祀は旧六月一七日。このほか一般には三月一日の漁祭りやフナオロシ(新造船進水)の時、海路参詣する。と記されている。また明治三五年初秋の「社明細帳」(宮崎緑翠園)によれば「海中鍋島、鍋島大明神、市杵島姫命、元禄年中に御勸請、二月一〇日祭」との記録がある。

常盤俳句会

露天湯に先客のある眺かな 春の雷たばしる闇の深きかな 台地今炎の帯や春隣 古伊万里の徳利に酌む雛の夜 この辺り野鳥の宝庫草を刈る 糸雛四季選集を菜とす

常盤川柳教室

電飾に歴史を刻む時計台 マラソンの時計気になる記録保持 古時計我が家の歴史知っている たまさかの逢瀬をせかず秒時計 待ちぼうけ時計ばかりが気にかかる

- 植本 菊子
- 松本 和生
- 植杉 和生
- 成重 はなえ
- 竹中 道子
- 田村 富子
- 松本 節子

ペンギン

亀浦に住んで

お元氣でお過ごしでしょうか。いつもお世話になっております。ここ常盤は、我家にとりまして第二の故郷ともいえるところです。亀浦西から東へと移り住んではや十数年が経とうとしています。この間に主人の転勤で九州に引越しましたが、張りきって九州に行ったものの、いざ宇部を離れてしまうと望郷の念は暮る一方、恋人でも残してきたかのように想いを馳せたものでした。熱き想いも通じるもので、二年ちょっとで再び帰ることができ、海の見える亀浦に住んでいます。と、少しぐらいの苦労は何のその。楽々乗りきれそうなのに、そして紀子様ではないけれど「こんなに笑っているのじゃうか」と言いたくなるぐらい幸せな気分になってくれます。美しい自然と、その地域性からくるのでしょいか、大らかに

で明るく、心豊かな方々が多いことが亀浦の魅力だと思えます。子供達のお陰で、常盤校区のあちらこちらに知り合いもふえ、ここに住める幸せに感謝致しております。



最後に、朝ははよから夜遅くまで、動く事が生きがいの『会社員のかみ』のような主人をまん中に、平凡ながらも取り得る家族ですが、これからも宜しく願います。 次回は大沢西 中重悦子様をお願いします。

七草がゆによせて

山根常雄

新しい年を迎え三ヶ月を過ぎる頃になるとそろそろ七草がゆの音があちこちで聞かれる様になります。春の七草、校区の皆様御存じでしょうか。健康のため歩く道すがら時には山野草でも採取されては。一月十一日今日は市民センターの間で七草がゆの試食会。近所隣誘い合せてセンターへ、ドアを開けるとどこからともなく野草の香りがただよって



来ます。部屋で待つことしばし、おかげができました。七草のお話を聞きながら食べる味は又格別、お隣の方と雑談を交しているうちふと終戦当時の食糧難時代の事を思い出しました。あの当時はほんとうに苦しかった。野や山を駆け廻り空腹を満たす為手当り次第何でも取って食べました。今こうしておかゆを口にしているとあの当時の事が思い出され胸のつまる思いがします。お世話して戴いたみどりの会、又七草を採取して戴いた皆様方ほんとうに有難う御座いました。私も七草がゆのお陰で又長生きできそうです。試食された皆様方は如何でしょうか。

切り花を

長持ちさせる

温かくなるのはうれしいのですが、花瓶の花の持ちが悪くなります。一日でも長く美しさを保ちたいお花。水の中に漂白剤(塩素系)を、ほんの数滴落として下さい。水の腐敗を防ぎ、長持ちします。

観葉植物の

ほこりをとる

室内の観葉植物の葉っぱのほこり、気になりますね。両手に軍手をはめて、やさしく、葉っぱを拭いて下さい。汚れたら、左右をはめかえて、両面使って下さい。薬の感触を楽しみながら、薬っぱとの、対話のひとつに……。

香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志をいただきました。常盤校区の福祉事業のため、有意義につかわせていただきます。厚くお礼申し上げます。

(自平成3年11月～至平成4年3月)

- 藤本 孝好様 大沢西 より ご母堂 千佐代様
- 中川 計文様 則貞5丁目3-28より ご尊父 正 夫様
- 宮本 和明様 岡の辻 より ご次男 健 児様
- 山根 紀子様 大沢東 より ご夫君 一 雄様
- 中村サツコ様 則貞5丁目10-47より ご夫君 敏 様
- 中川 貢様 則貞5丁目3-27より ご令室 順 子様
- 貞兼トヨコ様 亀浦5丁目3-18より ご夫君 正 人様
- 仁井田歳和様 亀浦北 より ご尊父 保 登様

常盤校区社会福祉協議会

お知らせ

常盤公園桜まつり開催

- 日時 4月5日(日) 10時～15時
- 場所 常盤公園(彫刻広場)
- 催し 大正琴、カラオケ大会はか盛り沢山

※雨天の場合は中止

編集後記

常盤校区にもボランティア福祉活動のグループが誕生しそうです。

ボランティア活動は「してあげるのではなく、させていただく」と云う気持ちでなければ続かないと聞いた事がある。「見て来い」「聞いて来い」「やって来い」の三つを実践してはじめて話しかけられる活動の模様です。力まずあせらず、自分達で出来る身近な活動からをモットーに、地域全体に広がる事を期待しています。 K S

常盤 日誌

ギリギリと真夏の太陽が照りつけ、蝉の音が一段と高くなる。今年も終戦記念日がいよいよ近づく。

四十七年前まで日本は世界を相手に戦争をしていた訳です。長期に渡る戦いで国民の生活は窮地に追い込まれ、不便不足を強いられました。誰が今日の様な、豊かで便利な生活を想像できたでしょうか。より豊かに、より便利にと求め続けた裏で、何か大事なものが失なわれていないでしょうか。何か大事なものを忘れてきていないでしょうか。戦争を体験された方々の貴重なお話の中から、それがいったい何なのか、を学びとれたらと思ひ企画しました。

終戦当時

何歳でしたか

ご家族は？

- A 「私は数え歳三十才で家内と子供の三人家族でした。」
- B 「子供の歳がいくつだったか覚えていません。三人おりましたから。私は三十三でした。」
- C 「私は二十八才でした。長男が一人、家内は二十二才でした。」
- D 「私は子供でした。中学校に行っていました。」
- E 「二十六才でした。東見初炭坑で働いていました。」
- F 「二十八才だと思います。対馬で終戦を迎えました。チョンガーでした。今の若い人達にチョンガーの意味が判るでしょうか。独身ということですか。」

G 「台湾で衛生兵をしていて終戦を迎えました。二十二才でした。十五才の時から台北に渡って商売をしていました。」

H 「数え年二十才。女学校を出たばかりでした。」

I 「女学校を出て、代用教員をしていました。女学校の三年の時から学徒動員で、軍需工場に出ています。」

J 「姉や兄のお古を着ましたよ。継ぎあてのある服は当り前でした。今の子供は継ぎあてすら判らないのじゃないでしょうか。」

H 「空襲警報がありましたから、いつも防空頭布と急救袋を提げていました。時にはカバンを持たずに学校へ行きました。」

E 「ちょっと話が飛びますが宇部は焼夷弾で、焼野原になりました。」



戦争体験から学ぶもの

- ご協力いただいた方々 (順不同)
- 山本 昭 様
 - 梅田 高夫 様
 - 今泉 俊雄 様
 - 山根 常雄 様
 - 園田 和夫 様
 - 山田 修策 様
 - 杉山 清石 様
 - 朝田 郁子 様
 - 江頭 典子 様
- 聞き手
コミュニティ常盤
編集部

食

事についてはいかがでしたか？

C 「この辺りは、イモ所」と言われていましたので、沢山サツマイモがとれたので主食にしていました。お百姓は地下たびが不足していた、炭坑で働く人と物々交換をしていましたね。」

H 「進駐軍にガムやチョコ、コーラをもらって食べる子達を見た。」

D 「メーター(使用電力計)のついていない家とついていない家では、電気の使用量がちがっていました。」

A 「住まいはガマンできるが、衣、食、住の中では、やっぱり食が大変な問題でした。」

住

宅についてはいかがでしたか？

F 「こればかりはやめられませんでした。戦地での楽しみはタバコだけでした。だから枯れた松葉を数本芯にして、草の葉でクルクル巻いて吸いました。」

C 「よもぎも使いましたね。合った心。」

「お湯加減はどうですか？ハイハイよう加減でございます。」

I 「セーラー服は着られませんでしたから。男は国民服、女はモンペを着ていました。それに皆んな下駄ばかりでした。下駄の鼻緒も自分で作りました。赤や青のきれいな色はなく、あり合わせのきれいな色を縫って作りました。」

衣

服についてはいかがでしたか？

G 「絨氈爆撃でしたね。」

E 「厚東川辺りから東波波まで広い範囲に落されたんです。焼夷弾の油の筒が破れて、火の着いた油が飛び散る訳ですから、防空頭布も何もあったもんじゃありません。皆んな燃えるんです。火傷がひどかった。」

B 「佐世保で終戦を迎え、久しぶりに我が家に戻り、家内の手を見てびっくりしました。手が黄色になっていました。家は、三人の子供達に米を食べさせようとして、自分は毎日毎日カボチャばかり食べていたんです。それで色素が変わってしまったんですね。それに、我が子が進駐軍から

H 「こんな(会場の天井を指して)照明じゃないですか、人と人の間で寄り添って生きてゆくことなのですから。」

E 「炭坑の長屋住まいでしたので、玄関という程立派なものじゃないけど、上り場があったて台所があった奥に六畳一間でした。家族全員がそこで寝たり、食事をしたりしていました。」

I 「灯火管制がありました。明りが漏れないように黒い布をかぶせていました。」

退任のあいさつ

土木港灣課 松井 洋

今年四月一日付の人事異動によりまして、土木港灣課へとかかわることになりましたが、振り返ってみますと平成元年の四月に常盤市民センターへかわってきて、まる三年間在籍をしましたが、あっといいう間のようです。その間いろいろの思い出がありますが、その中でも印象の深いものは、元年の「夏まつり」と昨年の二月に実施しました「ふれあい研修旅行」です。

元年の夏まつりは、午前中から雨が降ったり止んだりして準備にやきもきをさせられ、やっと夏まつりが開催され、これから本番の盆踊りというところで大雨となり、やむなく中止となったが、みんなぶ濡れになりながら最後まで踊り続けようとした姿や、後片付けに役員の方々が、本当にびしょ濡れになって片付けられた姿が目につかびます。

後で聞いたところ、宇部地方には、大雨洪水警報が出ていたとの事でした。

また、昨年二月に実施したふれあい研修旅行も、天気によきもきさせられ、それまで雪が降らなかつたのが、当日朝起きてみると、一面銀世界の大雪となり、チェーンをつけなければ車が運転出来ない状態で、九州の高速道路は雪で通行止めとの事であり、国道はやっと通行出来るとの事で、とにかく出発をしようという事になり、予定より少し

遅れて出発し、無事目的地である天ヶ瀬温泉についた時、ほっとした事等がなつかしく思い出されてきます。

ふつつかな者でしたが、センター在任中には、皆様方からいろいろのご指導、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。お陰様で各種行事とも、無事終了したものと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げますとともに、常盤校区がますます明るく住みよい町になりますよう、心からお祈り申し上げます。退任のあいさつにさせていただきます。

本当にお世話様になりました。

着任のあいさつ

常盤市民センター 館長 大塚 徹



今年四月一日付で松井前館長の後任として常盤校区の皆様にお世話になることになりました。ふつつかな者ですが、前館長同様よろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

着任に際しましては、皆様にご温かく迎えて頂き、本当にありがたく思っています。

皆様が築かれ支え豊かにされた常盤校区のますますの栄えを、微力ですが一所懸命お手伝いをさせて頂きたいと存じます。

手編み教室

「まあ、素敵ですね。」

「私も編んでみたいわ」と、毎回教室は、こんな会話が始まります。それぞれが持ち寄った作品に製作者の個性が溢れ、各自色々な物に挑戦しています。難しいかなと思えるようなものでも先生に教えていただく魔法にかかるといって、ちゃんとでき上がります。プレゼント用に、又外出着にと皆さんワクワクしながら編んでいます。

この三月二十一日百歳になっても、まだ現役で、潤達として張のある生活をなさっているお年寄をみた時、「まだ四十」と思えるようになりまして。

大沢西 中重 悦子

わたしの家族(四十路坂を越えて)

大沢西 中重 悦子

今年の三月二十一日百歳になっても、まだ現役で、潤達として張のある生活をなさっているお年寄をみた時、「まだ四十」と思えるようになりまして。

人年八十年とするならば、八十歳が頂上、八十になったらソロソロりと下ろうか、そんなふうにと考えると、四十分という間に過ぎたような気がします。その間、三人の子供達にも恵まれ、長女は今年成人式を迎えました。長女の晴着姿には感慨深いものがあり二十二年前の自分と重ね合わせてみてしまいました。

地球規模から見れば、人の一生は小さなひとつの点のようなのかもしれません。それでも人は喜んだり、悲しんだりとか様々な体験をするものです。私も四十路坂を越えた時、「もう四十」という思いが頭の中で駆け巡り、少々落ち込んだりしましたが、九十歳や



「もう四十」という思いが頭の中で駆け巡り、少々落ち込んだりしましたが、九十歳や

(今回は岡の辻の上田とも子様にお願いたします。)

知恵袋

「見直しましょう 毎日のお洗濯」

ゆすぎも、十分でない方がいいそうです。(洗剤が少し残っている方がいい。)

また酵素は、生き物(微生物)だから、活動し始めるのに、少し時間がかかります。つけ置きして、待ってあげましょう。水より、お湯がいいです。お風呂の残り湯を使えば最高。

(くらしの一日教室より)

常盤俳句会

鳴き砂の浜に足裏の灼けにけり 松本 菊子
 螢の吐息を嗅ぎし掌 片山 法忍
 生徒等へ大一喝や草を引く 河内山 裕見
 新築の軒をよこしてつばくらめ 藤上 和生
 百体の並ぶ埴輪や苔の花 村杉 貞子
 東行庵離開され沙羅の花 田村 富子

常盤川柳教室

課題「切る」

残照に数珠を切りたい日の迷い 草 一郎
 切り札は使わぬままに丸く老い 美 登
 切りつめて共に築いた五十年 文 里
 バルセロナ夢に描いて切るテープ 令 佳
 切らねばと幾度も迷う片想い 子 広

香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志をいただきました。

常盤校区の福祉事業のため、有意義にさせていただきます。

厚くお礼申し上げます。

(自 平成4年4月～至 平成4年7月)

村田 貞夫様 (大沢西)	より	ご母堂	フサコ様
中安 二郎様 (大沢西)	より	ご尊父	信 丸様
山田 哲義様 (大沢西)	より	ご尊父	昭 吉様
和田 作子様 (則貞5-9-10-1)	より	ご夫君	武 雄様
高木 繁夫様 (大沢西後)	より	ご尊父	末 好様
藤永 好明様 (江 頭)	より	ご尊父	一 郎様
澤本美奈子様 (大沢東)	より	ご夫君	畷 様
三井 隆夫様 (大沢東)	より	ご尊父	武 士様
藤田貴志子様 (岡の辻)	より	ご夫君	正 良様
秋葉 延枝様 (大沢西の前)	より	ご尊父	光 男様
江本与志雄様 (江 頭)	より	ご尊父	次 男様
森島 秀子様 (則貞4-17-33)	より	ご夫君	茂 様
吉原 敏夫様 (大沢西後)	より	ご尊父	常 一様

常盤校区社会福祉協議会

文化祭

11月7日(土)
8日(日)

敬老会

9月15日(祝)



今年も常盤校区がふれあい運動の「立看板の部」で推進委員会の優秀賞受賞!

常盤小学校体育館
午前10時～

“作品のご準備を”

コミュニティ常盤



来年

来年の夢

江頭 三木 進 84

十二支の酉は酒の意味にも用いられますが、実際の鶏とは何の関係もなく、干支の時にだけトリになります。鳥類



で直接人間に役立つのは鶏でしょう。トキを告げることなど、他の鳥には絶対ない特長ですし、また卵肉臓腑まで食用になっておる。同じ年頭でも、酉年はなんとなく、明るい景気のような気持ちになります。鶏の鳴き声が、然らしめるのでしょうか、私は健康法の一つとして、週一回ゴルフをプレイしておりますが、来年の夢はエイジシューター(年令以下のスコア)であります。平成四年の最高スコアが85でしたので、後一步の夢です。その夢を実現するため、先ず健康維持に専念しておりますところあります。

大沢西後 山根芳枝 72
私は大正十年七月二十四日生まれの酉年です。
この年になりますと、夢というものもありませんが、健

充実した日々を

亀浦 二目 紀藤 崇 24

寒さが身にしみる季節になりました。社会人として、第

の年

康で暮らせたらいなと思えます。常盤校区高台者学級に長年お世話になっておりますので、休まず出席できることも願います。お知らせになりました方々とバス旅行に出掛けるのは、本当に楽しみです。常盤の地に住んで四十数



年。水道がなくて、常盤湖の水を飲料に使ったこと。マンションのグラウンドで運動会に興じたことはなつかしい思い出です。その頃からお付き合いのある方々が、まだまだ元気ですから、共々「きんさん、ぎんさん」の年まで健康を願っています。

この度、突然私の所へこの



香子 二目

一步を踏み出してもう一年が過ぎようとしています。

この一年はあつという間に過ぎたような気がします。

僕は今、ダイイチ宇部店で働いています。周りの諸先輩方にたすけてもらいながら、自分なりにがんばっています。ダイイチへご来店された際には、是非一声かけて下さい。

男の年

新聞の話が舞い込んできました。暫く文章らしきものを書いていないので何を書いて良いのかと迷いました。私達職場仲間、皆んな子育てで一応終わり、今は夫婦二人の平凡で単調な生活に変化がないものかと。仕事帰りに話す事と言えば、仕事の話と恋の話、不倫の話などに花が咲きます。皆んな立派でやさしい夫がいる人達ばかりなのに、人生一度は不倫と言いたいものを経験してはみたくないの？

私達年代はそう言う噂話をすだけ関の山、若き青春にかえて(気持ちだけ)、恋をしたいなと思うだけ言うだけで、若返えった気になり楽しんでる私達若き乙女(昔の)です。

バドミントンと私

岡の辻 田原武実 36

私は今、常盤校区のバドミントン同好会に席を置いております。常盤小学校の体育館



来年の夢ということなんです。来年も健康で何事もなく、一日一日が充実した日々を過ごせればいいと思っています。

女の年

が使用できる事を知り、自治会の人に話をし、色々な人達に声を掛けてもらい同好会



を結成。早や丸四年が経とうとしています。十月十日の体育の日、校区対抗の試合があります。過去四回出場して、運よく一度決勝トーナメントに出る事ができましたが、まだまだ勝つ事が容易ではありません。今年が節目の五年目にもなりますし、またメンバーも少しずつ強力になりつつありますし、ぜひとも「決勝トーナメントで一勝」を目標に、練習にはげみたいと思います。(バドミントン同好会会長)

もうすぐ中学生

常小六年 岩本紀子 12

小学校生活も終わりで。花のアーチをくぐって、初めて体育館に入った日。短かったような、長かったようなあつという間に過ぎた六年間。



楽しいこと、つらいこと、数多く体験した。「紀ちゃん、笑顔が一番いいね。」と、友達に言われた。この友

夢

より充実した
コミュニティ誌に

して来年は七年を迎えます。発行のたびに、行事報告や催し物の結果報告だけに終わっているのではないかと苦悶していました。

編集員一同、心を合わせ地域の皆様に楽しく読んでいただける様配慮しながら企画しておりますが、マンネリ感を除く事は出来ません。次なる四〇号五〇号の発行を目ざして、過去の経験を踏み台により充実した、地域の皆様方に待たれるコミュニティ

来年はわたしたち酉年です。



よろしくお祈りします。



達の言葉を、大切に、来年の第一歩を、ふみ出したい。中学になれば、新しい友達との出会い。部活もある。何もかもが、新鮮な感じ。でも少し不安もある。けれど、私は、勉強・スポーツと、いろいろな事に挑戦し、笑顔を忘れず、がんばっていきたくて思う。

イ誌常盤となるよう関係者一同、アンテナを張り巡らしておりますので、ホットなニュースや出来事などご連絡いただけたらと、お待ちいたしております。
来年の干支は酉です。カッタ君にあやかり、翔んだコミュニティ誌になる事を夢見ている編集員です。

“アフリカ大陸を訪ねて” (その二)

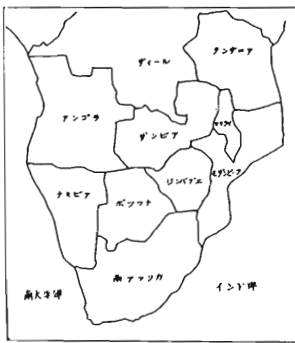
松本 次郎

この度、会社(ウベボード)の仕事を兼ね、南アフリカを訪ねる機会にめぐまれまして、見たまま、感じたままを寄稿させていただきます。

アフリカは大きく分けるとエジプトやカサブランカで有名なモロッコやサハラ砂漠などの北部とエチオピア、ケニアなどの中部、そして今回訪問した人種問題で揺れる南ア連邦、ジンバブエ等の南部に区分することができます。

わずか数日、しかも南部の二カ国しか見ないで、アフリカを語るなど恥知らずですが、感じた事を報告させていただきます。

私が南アフリカへ出張した理由は我社では波形スレート、ボード類を生産しており製品原料としてアスベスト(石棉)を使用しております。アスベストは天然に産する繊維状鉱物です。この鉱物は百万年前の火山活動により火成岩の一種である蛇紋岩の地殻内マグマの裂け目に水が侵入し、非常に高い圧力のもとで熱水作用を受けて出来た繊維状結晶です。アスベストは日本には殆んどなく、全量輸入してお



ります。主な産出国はカナダのケベック、旧ソ連のウクライナそして南アフリカのジンバブエが世界三大産地です。

八月二十一日、宇部空港を出発、東京で同行者と打合せ、翌八月二十二日、午前十一時、成田空港をキャセイパシフィックで出発、香港経由で南アのヨハネスブルグ迄の飛行です。香港迄の四時間、香港で乗り換えて更に十三時間、ひたすら飛び続けるという感じ。機内はビジネスクラスの席でしたが、お客は約半数のため、適当な空席で眠りにつく。外は暗闇、何処を飛行しているのか見当もつかない。目が覚めたり、うとうととすること何回となく繰り返すうち、朝の五時三十分頃、シートベルト着用のランプがつく。南アは冬の終わりのためか夜明けは遅いようである。

上空からヨハネスブルグを見ると、外はまだ暗く、電燈の光が明るく見える、道路の街灯、家の外灯らしい。日本の夜景と同じであった。

日本との時差七時間、時計を現地時間にあわせるため七時間遅らせる。八月二十三日午前六時、ヨハネスブルグ空港に無事着陸。気温は13度長袖カーデガンを着て少し肌寒い感じでした。入国の手続きを済ませ、出迎える商社の日本人の案内で空港近くのホテルへ、そして七時間の時差ボケ解消のため早速ゴルフに出かける。(則良)

教室紹介

現在会員十名。朝田丘月師の薫陶をうけている。少年の頃、坊門の師が機嫌のよい時禪僧の詩句らしきものを口ずさんでおられるのを聞いてはいたが、詩吟を習ったことはなく、頼山陽の『鞭声粛々』が詩吟のように感ぜられていた。生来音楽の神から見放された私が詩吟教室に

入っているのは奇縁というべきで、調子はそれの音階無視の私を、老人会向きの、笑いながらの先生の寛大な指導の明け暮れである。只私は心を追及してみるのが私自身。詩吟は恰好の老の一曲であり、同好者の光栄を望んでおります。

私の家族

岡の辻 上 田 ともこ

“アア、何と筆不精の私にペンリレーなんてこと始まりは、いつもお穏やかな浅本さん、料理上手な中重さん達に感心し、頷くばかりの私。

環境もトシも違うけれど気の合う仲間オバタリアン、浅本さんから「記念に!!」とニヤリ。友情には背を向けられず、思わず「ウウン……」

私は今年で、四十才になりました。アニメ大好きな中二の女の子と、ゲームボーイに夢中な小六の男の子と、世間の例に漏れず夜遅くまで会社で頑張る、時々休日には朝早くから起き、嬉しそうにゴルフに出かける主人と、家族四人ごくごく平凡な生活を送っております。ある夏休み、鳥根の三瓶山でキャンプをすることにになりました。地図帳を片手に、大自然の山々を見ながら、車で登って行きました。キャンプ場に着きテント



ながら見ていると、たまたま取材に来ていた地方のTV局にインタビュースられました。戸惑う主人と子供たち、今、思い出しても楽しい嘘みたいな本当の出来事でした。アアいい記念のペンリレーです。

次回は 岡の辻 松本初恵様にお願いたします。

知恵袋

台所のべたつき汚れを取る!!

キッチンガラスや壁のべたつき汚れ。時間がかかると、なかなか取りにくいもの。ひどい汚れの場合は、住居用洗剤をスプレーして、その

上に、台所用ラップを貼って十分くらいそのままに。ティッシュペーパーは乾くとはがしにくいので、これをおすすめ。

あと水拭きとカラ拭きを。

常盤俳句会

摩耶の月仏足石を照らしけり
白鷺を一点景の蓮枯る、
黎明にきらめく鶯の水尾ふたつ
方位盤指す城山の薄紅葉
ブーメラン飛ばす牧場鳥渡る
家づとに松茸の籠匂ひけり

松本 菊子
片山 法忍
植杉 和生
田村 富子
松本 節子
西田 和子

常盤川柳教室

課題「好み」

パン、ご飯好みで食べる朝の膳
老婆の好奇心まだ衰えず
年輪が食の好みを変えて過ぎ
姑の好みに合わず嫁の知恵
甘やかし過ぎて好みを片寄せ
あの人の好み今宵は藍を着る

草 丘
一 広
正 雄
美 登里
磯 香
朝 恵

香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志をいただきました。

常盤校区の福祉事業のため、有意義にありがとうございました。

厚くお礼申し上げます。

(自 平成4年8月～至 平成4年11月)

伊藤孝子様(則良4-16-21)より
ご夫君 光 夫 様

常盤校区社会福祉協議会

ふれあい・文化祭

文化祭一日目の十一月七日、センターの二階には、例年の如く作品が並んだ。昨年より、更にレベルアップの力作揃い。でも、マンネリの声も? もっと斬新なもの……。そんな声のある中で、玄関に飾られた「ジャンボポチャ」はよかった。重さ当てるの投票は、さらによかった。

二日目は演芸、食堂、野菜のパザールに、校区住民は勿論、遠来の客もあり、黒山の人だかり。野菜の箱もみるみるカラッポ。うどん、ぜんざい、焼き鳥、ジュースなど、テントの中も大繁昌。みかん十キロが当たったとホクホクの亀浦のMさん。岡の辻のFさん、則良のHさん。

舞台では、歌姫、舞姫の二役をこなしたUさん、今年、この文化祭が今年の締めくくりだそう。浅敷ならぬ、青天井のゴザ席では、やさしさを食べながら、見物する人達も。階上では、お茶席もあり。ゆったりとしたひとときも。ともあれ、にぎやかで和気あいあいの二日間でした。



行事予定のお知らせ

新年五礼会 五年一月五日(火)
七草がゆ試食会 五年一月九日(土)
どんど焼き 五年一月十日(日)